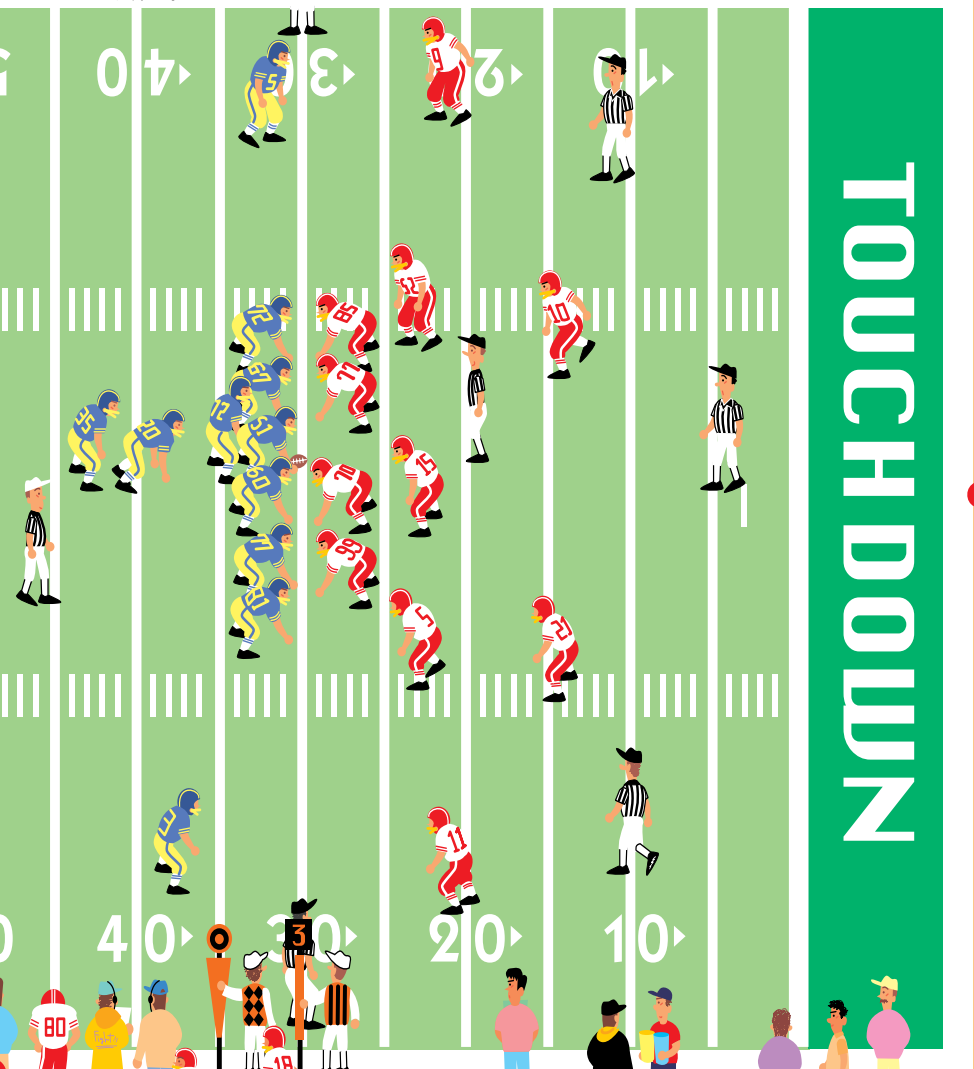




イラスト：池澤 泉



知っておきたいゲームの流れと用語

それではアメリカンフットボールのゲームの流れを理解するための用語を紹介していきましょう。

キックオフ

ゲームの開始、後半の再開、得点の後は、自陣の35ヤード地点に置いたボールを蹴って始まります。ボールをキャッチした選手は、味方のブロックを壁にしてリターンをします。

ファースト・ダウン(第1ダウン)

攻撃チームには4回の攻撃の権利が与えられ、この間に10ヤードの前進を獲得すると新たなファースト・ダウンとなります。その最初がファースト・ダウン。10ヤードの獲得が出来なかったときは、セカンド・ダウン、サード・ダウン、フォース・ダウンと続きます。

スナップ

攻撃を開始する手段。通常、センターが背後にいる味方に、股間を通してボールを手渡しするか、パスする方法があります。

パス・プレー

フォワード・パスは1回のプレー中に1回だけ許されている攻撃方法です。QBが後方にずっと下がってパスに構えたら、フィールドを走るレシーバーたちに目を移しましょう。

ラン・プレー

QBがバックにボールを手渡ししたり、ピッチ(後ろパス)したりして守備の最前線を突破します。ラインの守備に対する体当たり(=ブロック)が無ければ前進は生まれせん。

■攻撃チーム(青ヘルメット)のポジションと役割・特徴

5	スプリットエンド(SE)	ワイドレシーバーの一人。最速のレシーバーが起用される
72	レフトタックル(LT)	チーム最巨漢で強いラインが起用されることが多い
67	レフトガード(LG)	俊敏で器用なラインが起用される
51	センター(C)	ラインの中央に位置し、ボールのスナップを担当。冷静で正確な技術、忍耐力が求められる
60	ライトガード(RG)	LG同様に俊敏で器用さが求められる
77	ライトタックル(RT)	LT同様に強いブロックが求められる
81	タイトエンド(TE)	※LT、LG、C、RG、RTの5人のラインはボールを持つことは出来ない
3	ワイドレシーバー(WR)	ライン並みのブロック力に加えて、パス捕球に秀でたアスリート
12	クォーターバック(QB)	パスレシーブのスペシャリスト
20	フルバック(FB)	攻撃の司令官で、パス攻撃の要となる花形選手
35	テールバック(TB)	パワー派のランナーで、ブロック力も求められる
		スピードとパワーを兼ね備えたラン攻撃の主役。FBの横に位置するとハーフバック(HB)と呼ばれる

■守備チーム(赤ヘルメット)のポジションと役割・特徴

85/99	ディフェンスエンド(DE)	スピード派の守備ライン。パス攻撃ではQBにプレッシャーをかける
77/70	ディフェンスタックル(DT)	パワー派の守備ライン。攻撃ラインのブロックを打ち破り、ラン攻撃を阻止する
52/5	アウトサイドラインバッカー(OLB)	ラン攻撃にはオープン・プレーを止め、パス攻撃には下がってパスをカバーする
19	ミドルラインバッカー(MLB)	守備の要。強いタックル力に加えて、フィールド全体を見渡せる視野が求められる
9/11	コーナerbック(CB)	主にパス守備を担当。特にワイドレシーバーとの一対一の戦いを繰り広げる
10/21	セーフティ(SF)	守備の最後尾。タックルのミスはTDを許す、文字通り最後の砦

フォース・ダウン(第4ダウン)

3回の攻撃で10ヤードを獲得できずに迎えたフォース・ダウン。ここでゲーム展開の明暗を握る3つの選択をします。

【選択1:パント】

攻撃の権利を放棄して、相手陣にボールを大きく蹴りこんで陣地を挽回するのがパント攻撃です。ボールが蹴られた瞬間に攻撃と守備が一転します。

【選択2:ギャンブル】

パントせずにファースト・ダウン更新を狙うことです。失敗すればその地点で攻守交替。苦しい立場に追い込まれることを覚悟した賭けです。通常の攻撃体形からプレーする場合と、パントを蹴ると見せかけて守備の意表を突いてランかパスを行う場合の二通りがあります。

【選択3:フィールドゴール】

地面にセッティルしたボールを相手エンドゾーン奥に立つゴールポストの間に蹴り込むと3点が入る。35ヤード以内ならチャンス到来です。

タッチダウン

タッチダウンは6点の獲得。タッチダウンは“接地・着陸”の意です。

トライ

タッチダウン後のボーナス・ポイント。エンドゾーン手前3ヤードから、フィールドゴール同様に蹴りこむと1点。ランやパスでエンドゾーンにボールを持ち込めば2点です。